



エコのわタウン ~サンシャイン水族館~



「サンゴ返還プロジェクト」

~沖縄の海と池袋の水族館をつなぐ~

サンシャイン水族館では、サンゴを展示するとともに水槽内でサンゴを育て(表紙)、沖縄の恩納村の海に還す「サンゴ返還プロジェクト」を行っています。沖縄から持って来たサンゴをそのまま大きく育てるのではなく、水槽内で成長したサンゴから枝を折り、新しい苗を作って、殖やして育て、海に還すという取り組みです。この取り組みについてサンシャイン水族館職員の鶴橋さんにお話を伺いました。

平成20年7月に初めて沖縄の海にサンゴを移植しました。最初の記念すべき活動なので、地元である豊島区の公立小学校と一緒に活動したいと働きかけ、朋有小学校の子もたちに、苗づくりから海に還すところまで関わってもらいました。サンゴはとてもデリケートで移植後も管理が必要です。恩納村の漁協のスタッフと協力しながら、水族館スタッフも年に2回現地へ行き、メンテナンスを行っています。移植も数回実施し、今までに30個体前後を移植しました。

サンゴ礁は、波を穏やかにし、漁業資源も豊かにしてくれます。サンゴと共生している植物プランクトンが光合成を行ったり、サンゴ自身がカルシウムを吸収するとき一緒にCO₂を取り込んだり、サンゴはCO₂を削減する役割も持っています。サンゴ礁はとても大切な生態系のひとつなのです。最近では、移植場所の周辺にもいろいろな種類の魚が増えて

きているようです。人間の手で殖やすことができる数



サンゴ礁の再生
恩納村の海から
(常設展示)



恩納村の海に
サンゴを移植する
様子



恩納村での
サンゴ礁の様子

はとても少ないのですが、1本でも多く育てば沢山の卵を産んで育てることが期待できます。この活動を広めることで、より多くの人に、環境のために自分たちに何ができるか、考えるきっかけにしてもらいたいと思っています。

■サンシャイン水族館
サンシャインシティワールドインポートマートビル屋上 TEL:03-3989-3466

豊島区役所がエコアクション21の認証を取得しました

エコアクション21とは、事業者の環境に配慮した経営を促すため、環境省が策定したシステムです。豊島区役所では、環境に配慮した取り組みを率先してすすめるため、平成24年8月1日に、エコアクション21の認証を取得しました。
(対象事業所：豊島区役所本庁舎)



ご意見・ご感想をお待ちしています

住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXのいずれかで「取り上げて欲しい内容、また、エコに関する情報」など環境政策課までお寄せください。

宛先：豊島区清掃環境部環境政策課
住所：〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1
FAX：03-3981-6207
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp



第11号は「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成事業です。



「エコのわ」

「あなたの暮らしと地球をつなぐ 豊島区環境情報誌」

「エコのわ」
Vol.11

地球と向き合う

ひろがる豊島区の「わ」 自然再生の「わ」

池袋から沖縄の海へ

サンシャイン水族館
サンゴ返還プロジェクト

表紙：サンシャイン水族館